

住宅型有料老人ホーム&デイサービスリーベまつかわ内覧会

本日は、リーベまつかわの内覧会に足を運んで頂き、心より感謝申し上げます。

この施設名であります、「リーベまつかわ」のシンボルマークのイメージは、今後より親しみやすく、施設名となったドイツ語の『愛』を意味する“リーベ”の言葉から、きめ細やかに目が行き届いた人間味溢れる介護サービスを提供し続けることをコンセプト（概念）に、ハートと笑顔をモチーフにデザインしました。また、色合いも優しさと温もり、松川村の自然溢れる環境をイメージできる暖色系を用いて親近感と安心感を演出しました。



介護は、愛情のある温もりのあるサービスが大切です。マザーテレサの言葉を借りれば、「愛情の反対は憎しみではなく、無関心」といっております。つまり、愛情のある介護とは、目の前にいる利用者に関心を示すこと。その関心は、患部や認知症等の健康状態や病気による症状だけではなく、利用者の思いや願い等の心の動き。その他にも行動、しぐさ。さらにはこれまで生きてきた生育歴や習慣、こだわり…。つまり、全人的な介護（ケア）が求められる対人支援です。

リーベまつかわの職員は、介護・看護という専門職と言う垣根を越えて、人の関わりとして大切にされている『おもてなしの心（ホスピタリティ）』で、人生の先輩である利用者の皆さんに敬意を表し、サービスを提供できるよう努力していきたいと思っております。

また、緑あふれるこの松川村の安曇野の環境で、心も身体も癒して頂けるよう檜風呂で身体を癒し、四季折々の料理と人付き合いで心を癒して頂けるよう丁寧なサービスを提供していきたいと思っております。

これから開所し、まだまだ微力ではございます。皆さま方のご指導とご鞭撻を頂きながら成長していきたいと思っております。

これからのお付き合い、どうぞ宜しくお願いします。

平成 24 年 11 月 27 日

北アルプスの風 代表 神谷典成